

結節や空港リムジンバス乗り換えによる定時制の確保、パーク＆ライド等の活用もでき、グランメッセの活性化にもつながるものと考えている。

市長答弁

県道六嘉秋津新町線の整備については、県と連携し、効果的な渋滞対策を講じていきます。土地区画整理組合とは連携し、必要な対策を講じていきます。「10分20分構想」については、高規格道路としての機能が最大限に発揮されるルートや構造を検討します。今後の市電延伸については議会での議論の再開をお願いしたいと考えています。

やさしいまちづくりにおける安全・安心な歩行空間の創出について

■熊本高森線の電線地中化について

電線を地中に埋設し電柱をなくす事業は、道路の防災性の向上、安全性・快適性の確保、良好な景観形成のため、重要な施策となっており、熊本市の無電柱化事業は昭和60年代から推進され、現在55.5キロの無電柱化が完了している。私が本年第1回定例会で要望した「熊本高森線の花立2丁目交差点から益城町までの無電柱化」について、進捗状況についてお尋ねします。

都市建設局長
答弁

令和7年度までの着手を目指し電線管理者と無電柱化に向けた協議を行っています。



県道熊本高森線 肥後銀行秋津支店前道路
電線地中化は防災、景観上重要！

■自転車の通行及び歩道の整備について

歩行者の安全確保について、永年訴えてきたが、自転車と歩行者の事故をよく耳にします。自転車の交通ルールの周知徹底やマナー啓発がまだ必要であると思われる。また狭い歩道に街路樹や植樹帯などがあるために更に狭くなってしまっており、歩行者の安全確保が難しいところが多く見受けられる。自転車利用者の啓発活動や、歩道の安全性を高めるための整備状況についてお尋ねします。

都市建設局長
答弁

自転車の交通ルールやマナーについては、各種広告媒体、SNS、動画配信など、意識向上に資する取り組みを進めています。県警と連携し安全教育に関する取り組みを進めています。歩道の安全性の確保について、必要な対策をすることとしており、重点路線に位置付けた熊本高森線と第二空港線において、優先的に整備を行ってまいります。

■桜木・花立地域の課題について

大雨の際、浸水被害が発生する恐れがあり、現在鳴川の河川改修と下水道事業による対策が進められているが、現在の状況と今後の見通しはいかがか。次に秋津小学校付近の鳴川沿いの道路は交通量が多いが、アスファルト舗装がされていない。安全のためにも舗装を急いでいただきたい。

都市建設局長
答弁

鳴川については下流より整備を進めており、引き続き早期完成を目指し整備を進めてまいります。鳴川調整池の貯水量を8万トンに倍増する事業も早期完成を目指し工事を進めています。下水道事業の推進による浸水対策について、鳴川や調整池の改修を踏まえた雨水管の整備を計画しています。舗装の新設については対応したいと考えていますが、鳴3号橋の架け替え工事の進捗を見ながら対応してまいります。



工事が進む鳴川調整池